

# 会員増強特別委員会 事業報告

## I. 委員

委員長	神野 祥史	
副委員長	早川 武志	成田 昌樹
委員会メンバー	玉川 圭亮	坂 代地
幹事	樋田 安夫	

## II. 委員会事業

1. 2月例会（公開セミナー）
2. 入会説明会
3. 入会予定者オリエンテーション
4. サマーコンファレンス
5. 9月例会
6. 入会案内書の作成
7. 11月例会
8. 東海シティーマラソン

## III. 委員会活動報告

	事業名または活動内容	成 果
1月	入会説明会準備 会員拡大活動 2月例会準備	入会説明会の準備・資料作成を行った。 会員拡大活動を行い、入会候補者を入会予定者とすることができた。 2月例会「講師セミナー」の準備・資料作成を行った。
2月	入会説明会開催 会員拡大活動 2月例会開催	入会説明会を開催し、入会候補者を入会予定者とすることができた。 会員拡大活動を行い、入会候補者を入会予定者とすることができた。 経営セミナーを開催することで、資質向上につなげることができた。
3月	オリエンテーション協議 会員拡大活動 2月例会収支決算事業報告書作成	第1回オリエンテーションの準備、資料作成を行った。 会員拡大活動を行い、入会候補者を入会予定者とすることができた。 収支決算事業報告書を作成し、振り返り反省をした。
4月	会員拡大活動 入会説明会収支決算事業報告書作成 第1回入オリエンテーション協議	入会説明会収支決算事業報告書を作成し、振り返り反省をした。入会説明会収支決算事業報告書を作成し、振り返り反省をした。 第1回オリエンテーションの準備、資料作成を行った。
5月	会員拡大活動 第1回オリエンテーション準備	入会説明会収支決算事業報告書を作成し、振り返り反省をした。 第1回オリエンテーションの準備、下見、住職と打ち合わせを行った。
6月	第1回オリエンテーション開催	第1回オリエンテーションを開催し、弥勒寺にて修練の心を学び、心を静め、住職の話聞くことでリーダーの資質を学ぶことができた。
	9月例会協議	9月例会の内容の確認、流れを確認して委員会で協議した。

7月	サマーコンファレンス開催 9月例会協議	横浜にて開催されたサマーコンファレンスの設営および進行を行い様々なセミナー受け資質向上につながった。また、東海青年会議所と米沢青年会議所と懇親を深めることが出来た。 9月例会について協議を行った。
8月	9月例会協議	9月例会について協議を行った。
9月	9月例会開催 新入会員オリエンテーション収支決算事業報告書作成	来年度に向けて、例会で出会いの重要性和拡大セミナーを開催した。 新入会員オリエンテーション収支決算事業報告書を作成し、事業を振り返り反省をした。
10月	11月例会準備（開催支援） 入会案内書協議	11月例会の準備をし、資料作成を行った。 入会案内書の打合せ、協議、作成をした。
11月	11月例会開催（開催支援） 入会案内書作成	11月例会で、新入会員による手作り例会を行った。 構成・内容を決めて、入会案内書を作成した。
12月	東海シティーマラソン 入会案内書収支決算事業報告書作成 事業報告書作成	東海シティーマラソンの支援を新入会員と行った。 入会案内書収支決算事業報告書を作成し、事業を振り返り反省をした。 一年を振り返り、活動の総括ができた。

#### IV. 委員会決算報告

単位；円

事業名	予 算	決 算
1. 2月例会	12,000	10,011
2. 入会説明会	1,000	350
3. 入会予定者オリエンテーション	17,000	15,390
4. 9月例会	10,000	7,350
合 計	40,000	33,101

#### V. 委員長所見

委員長 神野 祥史

2014年度、近井洋一理事長より会員増強特別委員会委員長を仰せつかり、拡大委員長という大役と東海青年会議所の今後をも左右するぐらい重要な役職だと委員長を受けた後に、じわじわと心に湧いてきました。拡大経験をしたことがない私は、歴代の拡大委員長の重責を自分になって初めて感じました。新郷孝一委員長率いる、会員倍增特別委員会と志を同じくし、新郷孝一委員長と一緒に一年間頑張っていこうと思いました。委員長を受けてからは、仕事でも家族という時も、常に拡大の事ばかりを考えていたことを、今、思い出します。まずは、特別会員の先輩方を時間が有れば回っていました。紹介して頂ければ、候補者に会い、そして、この東海青年会議所の良さ、歴史と想いを一緒に心を込めて伝えて歩きました。どのようにすれば、この組織を知ってもらえるのだろうか、どのように伝えればこの組織に興味を持っていただけるのか、毎日、毎日、そのことばかり考えていました。その中で、まず素晴らしい功績のある特別会員の神野博史先生に思いを組んで頂き2月公開例会を開催させて頂きました。東海青年会議所を卒業された先輩の経験によるお話は、入会予定者ならびに候補者の方に解り易く興味を持ってもらい、そして、現役メンバーの資質向上にもつながったと思います。募集期間の5月までは、新郷孝一委員長とともにお互い切磋琢磨して、自らも本当に成長させて頂きました。9月例会では、次年度の拡大に向けて日本JC出向のメンバーに本当にご尽力を賜り、感謝がしきれません。

会員の拡大は、つらい時もありましたが、今年度、入会を決めて頂いた新入会員の皆様が本当に入会して良かったと素直に思えるには、すぐには感じる時は無いと思いますが、絶対に後悔はして欲しくは有りません。その為には、今いるメンバーと共に良い時間、良い事業を開催して行かなくてはなりません。自らもう一度、原点に戻り、新入会員の時に感じた疑問や苦悩を思い出し、心を新たにして活動をして行こうと思いました。会員拡大は普段の自分の行動や素行で始まっているとも思いました、神野さんが良いと言うなら入ります、入ってみたいと思っていただけるように常日頃から過ごさないといけないとも思う一年でした。

結果として、新郷孝一委員長と共に13名という新入会員を迎え入れることとなりましたが、目標には及ばず、自分の力不足を痛感いたしました。

候補者をご紹介して下さったメンバー、特別会員の皆様、お忙しい中ご協力いただきました特別会員の皆様、本当に多くの方に支えられ、助けて頂きました、感謝の1年でした。なにより、悩んでいるときや行きつまった時に笑顔でご指導くださった中山龍樹担当副理事長、微力な委員長に付いてきて、支えてくれた委員会メンバー、事業にご出席いただいたメンバー、そして、多くの成長をさせて頂く機会を与えていただいた近井洋一理事長に心より感謝申し上げ委員長所見とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。